

第10回
中学生『東京駅伝』大会
学校課

2月3日(日)第10回中学生「東京駅伝」大会がアミノバイタルフィールド(味の素スタジアム内)・都立武蔵野の森公園特設周回コースにて開催されました。

女子21名、男子21名、総勢42名の選手たちは、4回の合同練習会にて練習を重ねチームワークを高めてきました。

大会当日は天候にも恵まれ、女子・男子とも練習の成果を発揮して、全力で走りました。女子は1時間55分46秒で15位、男子は2時間27分42秒で31位でした。女子はこれまでの最高記録を更新し、特別賞を受賞しました。



郷土資料館
学校と郷土資料館

毎年、多くの子供たちが郷土資料館を訪れます。小学校の社会科見学、中学校の職場体験や調べ学習、八王子東特別支援学校中学部の体験学習や七生特別支援学校高等部の地域学習などの利用がありました。

資料館での学習のメリットは、日野に特化した話が得意なこと、実物の資料や印象に残る資料を用いて話ができることです。

社会科見学の一環として、資料館を訪ねて昔の道具を学びます。出張授業で、道具を学校に持ち込んで授業することもあります。実物からは、重さやにおいも実感することができ、道具に見られる先人たちの知恵や、物を大切にする暮らしを知ることができます。

日野の地形なら、廊下壁面の大きな立体地図が活躍します。「日野市の北側は多摩川が、南側は丘陵の尾根が境になっているよね」「みんなの学校はどんな

地形のところにあるの?」デコボコした立体地図から多くのことを知ることができます。平面の地図とは異なり地形を実感できるので、子供たちはよく気がつき考えています。



資料館所蔵の写真パネルも活用されました。学校公開に合わせ、昔の豊田地域の写真パネルを展示し、保護者や地域の方々にも見ていただく機会ができました。

郷土資料館は、ふるさと日野を伝える資料が、子供たちと出会い、生かされるよう、学校と連携をはかっています。
問 郷土資料館(☎592・0981)

ひのつ子
がんばってます
(学校課)

日野第八小学校

多摩モノレールの五行歌のコンクールにて、1年の澤井優樹菜さんが、応募総数2938首の中で4名のみが選ばれる「金賞」を受賞しました。「さいこう」というテーマの五行歌は「れもんをくちのなかにいれるとあ／＼すっぽく／＼からだぜんたいいしびれて／＼さいこう。」という作品でした。



滝合小学校

滝合マラソン
1月26日に行われた滝合マラソンは浅川の土手を競技コースにし、本校が取り組んでいる体力向上『パワーアップタイム』のまよめのイベントです。高学年は2kmにトライしました。5年生の前田大地君は堂々2年連続1位でした。



南平小学校

本校は、伝統文化の大切さを伝えるとともに、児童の言葉に対する感覚を豊かにするために、俳句や短歌等の鑑賞や作成に力を入れています。

第8回さいごい全国小中学生俳句大会 2名の作品が入賞!

かえりみち わざとはしって 白いき 1年 志賀風香さん
太ようは 空にうかんだ フライパン 3年 山本拓未さん
第14回しきなみ子供短歌コンクール 4名が入賞!

わたしのね おかあさんがね おつちよこちよい ワインのふたを あけずにそそぐ 2年 柳沢日麻莉さん
大好きな 私の姉は やさしくて ねるときいつも 手をつなぐんだ 3年 竹 夏生さん

台風が きたない雲を ふきとばし 空をあらって おそうじ 終わり 4年 塚本エミリーさん

イワシつり かかった時は ぶるぶるだ まるで電気のマッサー ジ機だ 6年 小木曾遥陽さん

第5回五行歌モノレールからことばの贈りもの 14名の作品が入賞!
明星大学賞

銀賞 1年 山田悠悟さん
銅賞 6年 井上那美さん
1年 木嶋麻有さん
2年 佐藤夏実さん
今井志歩さん
坂本和馬さん

多摩モノレール賞
5年 志賀暁さん
5年 倉持壮真さん
4年 吉江千紗さん
2年 ウッド弦稀さん
5年 宗高一織さん
6年 野原咲花さん
2年 野澤力輝さん
6年 荒牧虎之介さん

七生緑小学校

2月3日(日)、節分のお祝いとして地域で行われる「あめまき」に、6年生が参加しました。開始時刻が近づく、近隣の方々がどんどん集まってきました。6年生はあめがいっぱいに入ったバケツを抱え、赤いはっぱを着て、地域の方たちと一緒に元気にく飴を撒きました。「鬼はそとー福はうちー!」



日野第一中学校



12月26日TAMAAアンサンブルフェスタ(管打十重奏)および、1月26日東京都吹奏楽アンサンブルコンテスト(管楽八重奏)において、銀賞を受賞することができました。夏の東京都吹奏楽コンクールA組で金賞を

目指して、これからも日々練習していきます。

日野第二中学校

女子卓球部

関東中学校選抜卓球大会出場
本校女子卓球部は、1月26日(土)に行われた東京都新人卓球大会で準優勝となり、2年連続で関東選抜卓球大会に出場することとなりました。現チームになって半年間、関東大会出場を目標に、日々積み重ねてきた努力が実を結びました。



七生中学校

ハンドボール部

2月に行われた多摩地区新人研修大会において、男女とも第3位を勝ち取り、溝時照君と中村実涼さんが優秀選手に選ばれました。



女子バスケットボール部

2月に行われた多摩大会で、参加23校中、ベスト8の成果を上げました。

第16回 下田歌子賞を受賞



「下田歌子賞」は、実践女子学園の学祖であり、歌人としても名高い下田歌子の生誕150周年を記念し、平成16年から岐阜県恵那市が開催している短歌とエッセイの公募賞です。

実践女子学園のキャンパスが日野市にあることから、日野市教育委員会も下田歌子賞への後援をしています。(生涯学習課)

南平小学校では、この数年「下田 歌子賞 短歌の部」に児童の作品を送っています。一昨年、昨年と小学生の部に入選者を出しており、今年度は2名の入選者の他に、今年度から新設された「学校賞」にも選ばれました。

昨年12月15日に岐阜県恵那市で行われました表彰式では、主催者代表や恵那市教育委員会教育長からも、本校の短歌への意欲的な取組と、その作品にあふれる言葉の豊かな感性に称賛の声をいただきました。本校児童・教員への大きな励みになるとともに、実践女子学園の創始者である下田歌子先生と日野市との教育のつなぎ役になっていることを、今後幅広く児童に伝えていきたいと思っています。

おぼえたい 色んな国の こんにちは
そしてつながる 未来の地球
3年 大口 結仁さん

母の横 料理のいろは おそわって
ぼくが必ず 笑顔にしたい
5年 志賀 暁さん



公民館から
学びを届けます

公民館平和事業

公民館では、学校への「出前平和事業」を行ってまいります。昨年10月26日(金)に日野第八小学校6年生の平和授業に公民館平和事業を行いました。

大坂上中学校 日野第八小学校
和事業を行って

市民の方たちと共に訪問しました。当日は市民朗読サークルによる絵本「風になった母さん」の朗読や実際に戦争を体験した方々のお話を聞かせていただき、生徒の皆さんも熱心に当時の体験について質問し、熱のこもった会になりました。3月7日(木)には、大坂上中学校での出前授業も行ないました。公民館では、学校のご要望を受けて、学校へ向うの公民館講座

『どじょうかんおはなし』
ピクニック2019
開催のお知らせ

毎年「子ども読書の日」にちなんで、図書館では、子どもと本をつなぐという目的で、イベントを開催しています。今年は4月21日(日)に多摩平の森ふれあい館にて、さまざまな催しを行う予定です。

市内在住の童話作家・荻田澄子(かんだすみこ)さんをお招きして、子どもたち(3歳以上)と一緒に即興でおはなしを作ります。どんなおはなしができるのか、当日のお楽しみですね。最後には自分だけの本ができあがります。また、荻田さんによる読み聞かせもあります。募集等の詳細は「広報ひの」4月1日号または図書館HPでご確認ください

座の実施を今後も行っていく予定です。

公民館障害者理解講座

公民館では毎年障害者への理解を深めるための講座を行っています。今年度は、日野第一中学校と連携し、ボランティア部の生徒の皆さんを対象に出張講座として開催しました。

講座では、日野手話サークルの方々が講師となり、明星大学手話サークルの有志の方も応援にかけつけ、ボランティア部の生徒たちと一緒に、手話で自己紹介をしたり、「世界に一つだけの花」を手話で歌ったり、あつという間の楽しい時間を過ごしました。

公民館では、今後も障害者理解講座を様々な機関と連携する予定です。

中央公民館(☎581・7580)

その他に、「チームまじよ」による朗読劇、「日野・子どもと本の出会いの会」「日野おはなしの会」によるおはなし会なども行います。また、バリアフリーに関する本の展示や、通常の本を読むことが困難な方が絵と音と文字で楽しめるマルチメディアデイズ・図書の視聴など、1日を通して全ての子どもを対象にした本と触れ合う企画が盛りだくさんです。親子で、またはお友達同士で、どうぞご来場ください。



「おもちのあふる」 荻田澄子/作 植垣歩子/絵 学研教育出版

『第8回日野市
ロープジャンプ!』
小学生大会が
開催されました

2月23日(土)「市民の森ふれあいホール」にて『第8回日野市ロープジャンプ!小学生大会』が市内小学校14校・43チーム、児童1,077名の参加のもと盛大に開催されました。結果は、第1位豊田小学校「ラビッツスター」ザ グレイテストジャンプショー」チーム、第2位日野第五小学校「もっちゃん」チーム、第3位旭が丘小学校「旭が丘小学校5年1組挑戦」チームでした。参加いただいた児童のみなさん、指導・引率いただいた先生方、また当日ご声援いただいた皆様ありがとうございました。

土方歳三 新作品
『BLUE
BLOOD 土方歳三』



重要 無形文化総合指定保持者・観世流能楽師の山中遼晶が、日野市「土方歳三没後150年」に向けて新たな能の世界を切り開く新作品を初演いたします。

日時 5月11日(土)午後2時開場、午後3時開演
場所 ひの煉瓦ホール(日野市民会館)大ホール
出演 山中遼晶、谷本健吾、山中つばめ ほか
入場料 大人3,000円、高校生以下1,000円※全席指定
チケット販売場所 ひの煉瓦ホール、七生公会堂(窓口のみ) e+ (イープラス)
主催 日野市市民会館文化事業協会(文化スポーツ課内 ☎514・8462)

新選組のふるさと歴史館
第12回
新選組書展開催中

新選組のふるさと歴史館では、新選組ゆかりの文字を書く公募の書道展「新選組書展」を、例年開催しています。

今年の課題は、毎年の課題「誠」のほか、幕末の文体である候文「炮術ちふれん不残西洋ツ、致候」、新選組ゆかりの地名シリーズ「日野」の3つです。

「炮術ちふれん不残西洋ツ、致候」は、今年、没後150年を迎えた土方歳三が、義兄の佐藤彦五郎に宛てた手紙の一節で、新選組が洋式銃を使って盛んに訓練を行っていた上達著しいという内容で、刀のイメージが強い新選組が実際は銃も使っていた様子を示すものです。

また、「日野」は、土方歳三や井上源三郎の故郷であり、彼らと近藤勇や沖田総司が出会い、佐藤彦五郎ら、新選組を応援した人々も多くいました。

全国から寄せられた応募作品は600点近くにおよび、そのうち日野市内の小・中学生の応募は約200点でした。

新選組書展では、これら応募作品をすべて展示します。この機会に、新選組の歴史に触れながら、筆文字の面白さを味わってみてはいかがでしょうか。

会期 開催中(3月31日)
会場 新選組のふるさと歴史館(☎583・5100)
※応募多数のため、会期中に展示作品を入れ替えます。

家庭教育通信 30

夢をもつと、人は強くなる。

今の子どもは冷めていて、将来の夢や希望ももたず、難しい目標はチャレンジする前にあきらめてしまふと言われています。しかし、子供は子供なりに夢や希望をもっています。どんなに小さく、どんなにへんに思えるものでも、その夢や希望に耳を傾けましよう。

また、自分の経験や、長い間にわたって苦労して夢を実現した人々の生き方などを折にふれて話しましよう。そして人生の目標は汗を流し、失敗を重ねながら達成していくものだ、と、励まし、あたたかく見守っていきましょう。

親は子供の応援団です。

出典 文部科学省発行「家庭教育手帳(生涯学習課)



実相寺の神代桜

ご予約・お問合せは、
フリーダイヤル0120-489-571
(大成荘直通/9:00~19:00)

または、<http://www.kousha.jp/>へ